

阿蘇医療圏の中核的な医療を担う新病院

# 阿蘇医療センター

## 8月6日開院

施設・設備の老朽化と救急医療機能の強化を図るために、昨年1月から始まった新築移転工事が終わり、8月6日、いよいよ開院を迎えます。

新病院の名称は「阿蘇医療センター」。  
今月号は、阿蘇地域の中核的な医療を担う新病院をご紹介します。

阿蘇中央病院は、旧黒川村で昭和25年に開院し、建設後60余年が経過、施設の老朽化とともに、新たな医療需要に対応できなくなったことや、地域医療機関などの連携、救急医療体制の強化の必要性などから、平成18年に阿蘇郡市医師会や関係機関の有志者でつくる「阿蘇中央病院経営改革委員会」を発足させ、病院の方向性などについて協議が始まりました。

平成22年には、熊本県が策定する「地域医療再生計画（阿蘇編）」の基金を財源の一部に充て、新病院建設の計画が具体的に進み、平成25年1月には工事に着手。ことし6月に本館が完成し、移転作業などを経て、8月に開院となりました。

### ● 新病院施設の概要

所在地	阿蘇市黒川1 2 6 6番地
構造	鉄筋コンクリート造（一部4階建）
病棟	・外来棟（耐震構造）・中央診療棟、病棟（免震構造）
面積	建築面積：約 6,064 平方 <sup>㎡</sup> 延床面積：約 11,230 平方 <sup>㎡</sup> 敷地面積：約 26,335 平方 <sup>㎡</sup>
病床数	124床（一般：120床、感染症4床）
診療科	内科（神経内科含む）、循環器科、小児科 外科、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科 皮膚科、麻酔科
高度医療設備	MR I 装置、CT 装置、血管撮影装置など
救急対応設備	救急ヘリ離発着場
総事業費	約 4.9 億円（うち約 10 億円は県地域医療再生基金からの交付金）
問い合わせ	阿蘇医療センター ☎ 3 4 - 0 3 1 1

阿蘇五岳の風景と自然豊かな環境と調和した施設。  
約 250 台の駐車スペースを完備し、多くの来訪者を迎え入れます。

floor guide

# 施設の概要

阿蘇医療センターは、阿蘇地域では初の免震構造や阿蘇の景観との調和が特徴の一つです。今回は、それぞれの設計コンセプトに沿って施設をご紹介します。

## 災害に強い阿蘇地域医療の 拠点病院としての施設



診療棟・病棟は地下室に 140 基の免震設備（写真）が施されており、震度 7 の地震にも耐えることができます。

## 外来・検査を 1 階に集約し、 外来患者の移動負担を軽減した施設



正面玄関から入ると広いロビーがあり、受付窓口から外来へすぐにアクセスできます。

## 人と環境にやさしく、 コスト軽減が図られた医療施設

自然光がたっぷり入る施設内  
計で、人工照明にたよらない



## 風光明媚な風景との調和、 阿蘇ならではの医療施設



阿蘇の風景を見渡せる病棟

高度医療機器も充実！

### MRI 装置（超電導磁気共鳴診断装置）



静かな環境でリラックスして検査ができます

### X 線循環器診断システム



2 方向撮影が同時にでき検査時間を短縮できます

### CT 装置（コンピューター断層装置）



1 回の息止めで全身の検査ができます

# 阿蘇医療センター 1階フロア見取り図



▽2階には手術室、2階〜4階は病棟となっており、4階の40床のうち、感染症患者に対応した病床4床が並ぶ。

## 建 物 構 成

外来棟	中央診療棟	病棟	
		4階病棟（一般病床）40床・（うち感染症病床4床）	4階
		3階病棟（一般病床）40床	3階
	手術室・アンギオ室	2階病棟（一般病床）44床	2階
講堂・ラウンジ・カフェ 外来診察室・売店・ATM	救急処置室・MRI・CT・内視鏡 レントゲン・エコー・心電図	人工透析室・リハビリテーション室・検診室	1階
耐震設備		免震設備	B1階